外傷における包括的長期予後データベースの構築とテーラーメイド型退院後医療の確立〜中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の自然史、QOL、社会復帰に関する多施設共同研究〜の

データ利用およびAuthorshipについて

【テーマ募集とデータ利用に関して】

* 研究開始時点で研究参加施設を対象に、期限を定めて研究テーマを募集する。
* テーマの募集は症例集積期間中（2年間）、複数回行う。
* 申請研究テーマは、申請者の所属する研究参加施設の症例登録数が30症例に達した段階で有効となる。登録数が30症例に満たない場合、その申請テーマは採択されない。  
  （日本外傷学会多施設臨床研究委員会（以下、多施設臨床研究委員会）委員15施設の年間平均対象患者は 100-120症例であった。2年間の症例集積期間中30症例の基準は容易に満たすことができると考える）。
* 研究テーマ募集期間締め切り後、多施設臨床研究委員会内でテーマの重複がないように調整する。重複する場合、原則として、申請の先着順に優先権を与えられる。
* １次募集で採用したテーマは２次募集の際に公開され、２次募集では同様のテーマ申請は受け付けない。同様に１・２次募集で採用したテーマは３次募集の際に公開され、３次募集では受け付けない。３次募集以降に関しては委員会で検討し、必要に応じて募集する。
* 登録が30症例に満たない場合、申請研究テーマの採択は見送るものであり、以降そのテーマを他施設が申請することを認める。
* 運営委員会及びデータセンターによるデータクレンジング後、多施設臨床研究委員会は、研究テーマ申請を行った参加施設にデータを配布する。
* 研究デザイン・解析方法に関するサポートを**『希望する』**参加施設は、その旨を申請時に伝えることで、サポートを受けることができる。
* サポーターは多施設臨床研究委員会委員内から２名程度選出され、選出された委員は研究サポートをすると共に、その研究の共著者となることができる。
* 一度研究サポートを行った委員は、原則として以降の研究サポーターには選出されない（委員全員がサポーターを担当した後における再選出は認めるものとする）。
* データ配布後、1年以内に論文投稿に至らない場合は、解析/執筆する権利は喪失するものとする。
* データ配布後、各研究参加施設のテーマ研究進捗状況（データ解析状況・論文投稿状況）を鑑みて、多施設臨床研究委員会もしくは日本外傷学会理事会の検討を経たのちに、日本外傷学会会員へデータを公開する。
* 日本外傷学会会員は、ホームページ上に公開された主論文および事前設定テーマ、申請研究テーマとの重複のない研究に利用することができる
* 日本外傷学会会員がデータの利用を希望する場合は、学会事務局にデータ利用申請を行い、申請料を支払いデータを取得する（事務手続き料・データ送信用CD代等の必要経費のみ）
* 日本外傷学会会員へデータを公開した後は、本研究参加施設の自施設データであれば自由にデータを使用できる。

【Authorshipに関して】

主論文および事前設定テーマに関する論文：

1. 主論文および事前設定テーマに関する論文の著者は、研究運営委員会メンバー、研究参加施設の研究責任者、統計解析担当者、科研費研究分担者、研究開始時の多施設臨床研究委員会委員長、本学会代表理事とする。
2. 研究参加施設からの著者は原則1名のみとする。
3. 研究参加しない多施設臨床研究委員会委員はacknowledgementに名前を記載する。
4. 著者はICMJEの規定に則る。

<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html>

The ICMJE recommends that authorship be based on the following 4 criteria:

1. Substantial contributions to the conception or de- sign of the work; or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work; AND

2. Drafting the work or revising it critically for important intellectual content; AND

3. Final approval of the version to be published; AND

4. Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

申請研究テーマ論文：

１）研究テーマを申請した論文の著者は、申請者が自由に設定することができる。ただし、研究デザイン・解析方法に関するサポートを受けた場合、対象となる多施設臨床研究委員会委員を必ず共著者に加える。

２）多施設臨床研究委員会をacknowledgementに記載する。

３）研究参加施設研究責任者をacknowledgementに記載する。

４）研究運営委員会メンバー、科研費研究分担者をacknowledgementに記載する。

日本外傷学会会員へのデータ公開後：

１）日本外傷学会会員へのデータ公開後の著者は、データ申請者が自由に設定することができる。

２）多施設臨床研究委員会をacknowledgementに記載する。

３）研究参加施設研究責任者をacknowledgementに記載する。

４）研究運営委員会メンバー、科研費研究分担者をacknowledgementに記載する。